

特定非営利活動法人 持続可能なまちと交通をめざす再生塾
(略称 NPO 法人再生塾)

設 立 趣 旨

交通の問題は、たとえば交通渋滞、交通安全、沿道環境、地球環境、中心市街地の衰退、公共交通の採算性の悪化によるサービスの低下や撤退など多岐にわたり、その規模は、地域の問題から都市、国、そして地球規模にも広がる。

このような交通の問題に対して、近年は、「モビリティやアクセシビリティを高めて経済活動を支える」ための対策だけでは問題があるという認識に至り、“環境的に持続可能な範囲に収まること”、“財政的に実現可能であること”、“市民の合意が図れるという意味で実現可能であること”など、多くの政策目標に配慮した対応が求められている。このため、交通の問題に対しては、人・自動車・公共交通といったモビリティに着目するだけでなく、都市やまちづくりなどを含めて交通政策をすすめていくことが不可欠である。

また、交通政策に関する計画や事業を進めるに際しては、行政や専門家だけにとどまらず、広く市民や地域社会の団体なども意思決定主体、事業推進主体に参加する仕組みが不可欠となっている。さらに、固定した将来像を持つ計画案を目標として取り組むのではなく、将来像と計画内容を繰り返し見直ししながら進める戦略的なアプローチへの展開も重視されるようになってきている。

したがって、交通政策を推進するためには、交通と地域の関係、まちづくり、住民や企業市民の主体的な参加、公共交通の経営、情報提供など多岐にわたる分野に関するコーディネーターを行う“人材”が非常に重要であるが、このような交通政策を推進するノウハウを有する人材は必ずしも十分とはいえないのが現状である。特に、地域交通の活性化、再生は、まちづくりと一体で取り組むべきものであり、地域と行政などが連携して、主体的な取り組みが求められることから、地域の人材育成は急務である。

特定非営利活動法人持続可能なまちと交通をめざす再生塾は、以上のような背景と問題意識に立って、地域の交通問題を主導して計画策定や事業を推進してきた行政団体の担当者やプロジェクトを推進する専門家とともに広く市民を対象として、交通政策を推進するために有用な理論的・実践的情報を提供し、相互の意見交換を通して“ビジョン”と“夢”を共有して、関係各方面の取り組みを支援することによって、市民の安心で豊かな暮らしに寄与することを目的とする。

このため、まちづくりや交通にかかわる学識経験者、行政関係者、技術者の有志らが、連携しあいながら各地域でのまちづくりと交通政策の推進に携わり、様々な支援を継続すると共に、その技術や経験を踏まえて、行政や技術者、そして地域のリーダーを対象とした塾の開催や研修活動を進めてきた。

このような状況から、持続可能なまちと交通をめざした取り組みに対して、まちづくりと交通

の分野とこれを越えたネットワーク化された専門的技術者などが連携した体系的な支援と日常
的かつ持続的なしくみと体制を構築し、広く支援のための活動を展開していくこととした。

具体的には、まちづくりや交通にかかわる問題の解決や各種施策を推進するための支援を
効果的にすすめるために、関連分野の専門家ネットワークづくり、地域や各界のリーダーのた
めの研修、各地域ですすめるまちづくりや交通計画と施策実施の支援、市民や各界の啓発活
動、学校教育への支援、そして行政および市民との日常的な連携関係の構築に努めると共に、
関連する研究や技術開発とその普及などの活動を展開していくこととする。

平成20年9月

特定非営利活動法人 持続可能なまちと交通をめざす再生塾
設立代表者 北村 隆一